57

市指定有形文化財　歴史資料

鴨墳(かもづか)の碑(ひ)

◇ 指定日　昭和32年12月25日
◇ 所在地　光岸地(大杉神社境内)
◇ 所有者　個人

この碑は元々、宮古から鍬ヶ崎に抜ける旧国道45号の夏保峠(なつほとうげ)にあったものが、動かされ位置を変え、現在の地に建立されたものです。

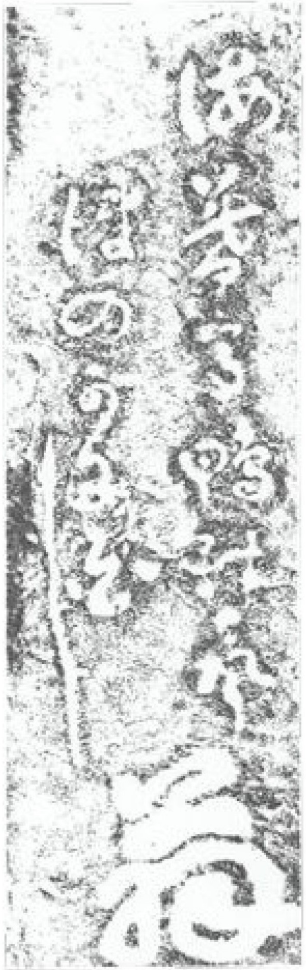
江戸時代の天明３年(1783年)に盛岡の俳人であった小野素郷(おのそきょう)が、津軽石(つがるいし)の俳人里川と鍬ヶ崎を訪れ、夏保峠に立ち寄りました。その際に眼下に暮れ行く港の景色を眺めた時に、小野素郷は松尾芭蕉が詠んだこの句を思い浮かべ、自らこの句を書き石碑を建てたといわれています。

表面には

「海暮て鴨の声　ほのかに白し　翁」

と刻まれています。

高さ 140㎝　幅 40㎝　厚さ 40㎝



石碑拓本